

平成30年度（2018年度）熊本県産農林水産物等の輸出実績について

平成30年度（2018年度）の県産農林水産物等の輸出実績について、別添のとおりとりまとめましたので、ご報告します。

当実績は、本県施策の重要な指標のひとつとして、毎年度調査しているものです。

○平成30年度（2018年度）県産農林水産物等の輸出実績の概要

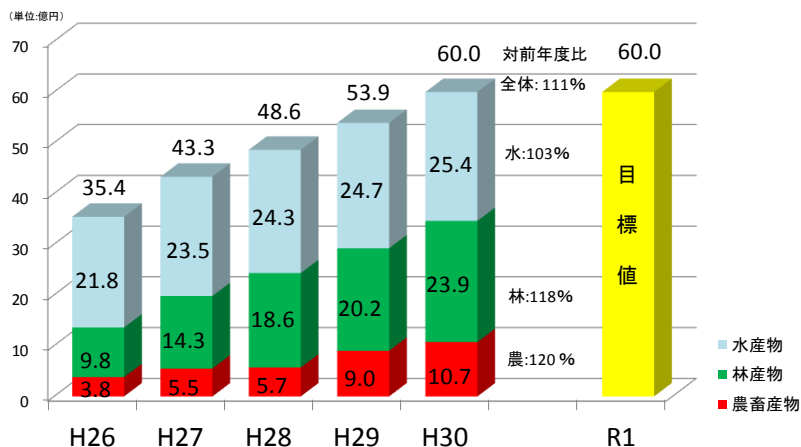
- ・本県産農林水産物等の輸出額は60億円となり過去最高を更新し（対前年度比111%）、目標金額60億円を1年前倒しで達成。
- ・部門ごとの輸出実績は次のとおり。

	平成30年度輸出実績	(参考) 平成29・28年度輸出実績	
	輸出金額 (対前年度比)	平成29年度	平成28年度
農畜産物	<u>10億7千万円 (120%)</u>	9億0千万円	5億7千万円
林産物	<u>23億9千万円 (118%)</u>	20億2千万円	18億6千万円
水産物	<u>25億4千万円 (103%)</u>	24億7千万円	24億3千万円
合計	<u>60億0千万円 (111%)</u>	53億9千万円	48億6千万円

流通アグリビジネス課・林業振興課・水産振興課調べ
 (県が輸出を把握している団体・業者への調査)

平成30年度(2018年度)県産農林水産物等の輸出実績

(県調べ)



お問い合わせ先

流通アグリビジネス課

渡辺・曾我 <内線: 5396 (直: 096-333-2395) >

林業振興課

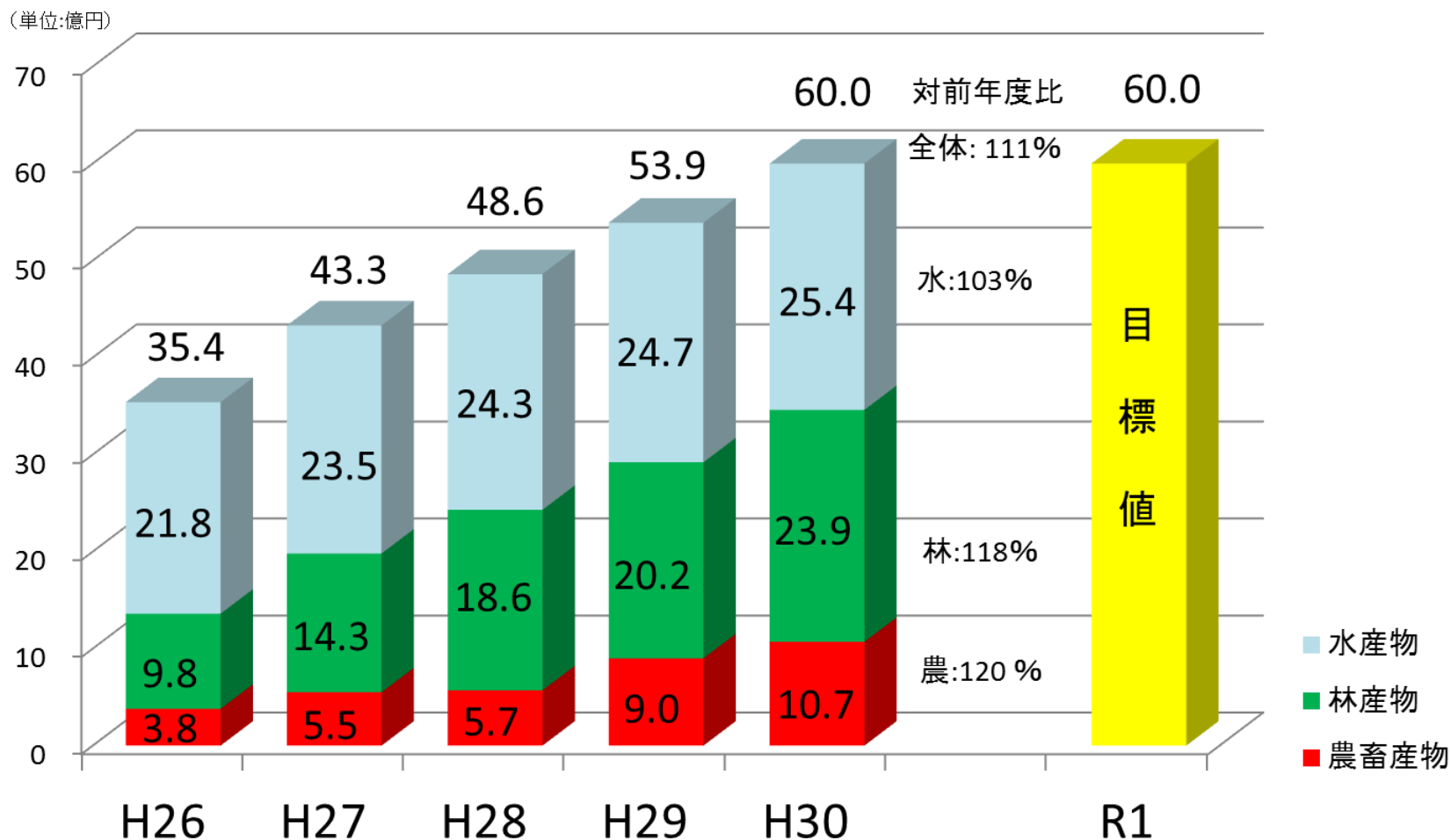
廣田・藤田 <内線: 5640 (直: 096-333-2448) >

水産振興課

渡辺・松本 <内線: 5677 (直: 096-333-2457) >

平成30年度(2018年度)県産農林水産物等の輸出実績

(県調べ)



○平成30年度(2018年度)県産農林水産物等の輸出額は過去最高を更新し、60億円となり、目標金額60億円を1年前倒しで達成した。

○農林水産物いずれも順調に輸出を伸ばし、対前年度比111%となった。

各部門の概要

① 農畜産物

〈概要〉

- アジアを中心に、日本産農畜産物への高い関心と検疫条件緩和による市場拡大により、主力品目の牛肉等が順調に増加。
- 既存国・地域へのさらなる輸出拡大と、新規国・地域の市場開拓を図るため、バイヤー招へいや現地での販売プロモーションなど、商談機会の創出に取り組んだ。



香港でのプロモーション

【平成30年度(2018年度) 農畜産物等の品目別・国別輸出状況】

(単位:千円)

	米	かんしょ	いちご	梨	牛肉	牛乳	加工品	その他	合計	対前年度比
香港	3,227	7,965	49,550	1,473	320,972	38,182	57,763	60,212	539,344	110%
シンガポール	15,602	3,478	445	183	203,275	5,978	12,017	4,511	245,489	188%
台湾	2,083	1,898	156	15,398	113,304	1,394	22,761	441	157,435	103%
アメリカ	1,786	0	0	0	69,936	0	6,480	0	78,202	122%
カナダ	0	0	0	0	10,666	0	0	0	10,666	46%
その他	231	2,376	3,510	0	27,029	1,961	5,945	1,518	42,570	119%
合計	22,929	15,717	53,661	17,054	745,182	47,515	104,966	66,682	1,073,706	120%
対前年度比	88%	98%	68%	136%	130%	124%	112%	115%		

〈品目別の輸出状況〉

- 輸出の約7割を占める牛肉は香港、シンガポール向けを中心に順調に増加。
- 牛乳は香港やシンガポール向けを中心に順調に増加。
- 梨は中秋節のギフト需要により順調に増加。
- いちごは残留農薬の報道により、一時出荷停止などが発生し、減少。

② 林産物

〈概要〉

○H29年度末からの供給過多によってアメリカ向け製材品の輸出量は減少したものの、中国・韓国における丸太需要が依然と高い状況を維持しており、輸出額は増加した。

○東アジアを中心に加工・流通状況の調査、住宅総合展示会出展、製材品のテスト輸出、海外バイヤーとの商談等を実施し、販路開拓に取り組んだ。

【平成30年度(2018年度) 県内港からの木材輸出実績(国別・品目別)】

輸出先国名	丸太		製材品		合計		対前年度比	
	材積(m3)	金額(千円)	材積(m3)	金額(千円)	材積(m3)	金額(千円)	材積	金額
中国	123,497	1,516,868	3,772	87,970	127,269	1,604,838	133%	133%
韓国	26,999	591,843	447	25,398	27,446	617,241	104%	103%
アメリカ	0	0	2,656	133,186	2,656	133,186	65%	67%
ベトナム	734	13,992	166	6,087	900	20,079	167%	167%
台湾	234	13,162	48	3,330	282	16,492	117%	179%
インドネシア	0	0	27	1,004	27	1,004	-	-
合計	151,464	2,135,865	7,116	256,975	158,580	2,392,840	125%	118%
対前年度比	126%	123%	111%	88%	125%	118%		

※出所:財務省貿易統計に基づく林業振興課調べ 対象HSコード[4403][4407][4409].税関区分上「米ノ津港」の実績も含む。

〈品目別の輸出状況〉

○県産木材と建築技術による「和の空間」をコンセプトとした内装施工や戸建て建築の輸出が中国、台湾、タイで実現。

○アメリカ向け製材品(戸建て住宅フェンス用)の輸出は、中国-アメリカ間の不安定な情勢により市場が混乱し、減少。

○中国向けに製材品(主に内装材)を輸出する県内事業者が増加し、製材品の輸出量が増加。

○韓国・台湾では、日本産のヒノキが人気であり、家具用、内装用として丸太の輸出が増加。



中国山東省済南市の商業施設内における子供部屋モデルルーム(県内事業者が受注)

③ 水産物

〈概要〉

- 北米、EU、アジア(韓国、香港、中国、台湾、インドネシア等)向けに、ブリ、マダイ、シマアジ等の養殖魚を中心に輸出。輸出国によって増減はあるものの、アジア地域へのシマアジや芝エビ、水産加工品(海苔や海藻類)等の輸出が伸び、全体の輸出額は増加した。
- 市場拡大が期待されるアジア市場への販路拡大のため、香港等において商談を実施するとともに、香港、オーストラリアのバイヤーを招へいた。

【平成30年度(2018年度) 水産物の魚種別・地域別輸出状況】

(単位:千円)

	ブリ	マダイ	シマアジ	カンパチ	その他	計	対前年度比
北米	1,191,767	386,925	42,403	75,721	35,657	1,732,473	95%
アジア	282,505	154,996	178,220	21,376	105,806	742,903	123%
韓国	100,450	124,598		4,040		229,088	63%
香港	69,332	6,033	83,787	2,763	11,259	173,174	187%
中国	22,768	60	51,680		6,848	81,356	1689%
台湾	42,425	5,741	3,053	312	11,781	63,312	83%
その他	47,530	18,564	39,700	14,261	75,918	195,973	292%
EU	22,548	2,099	3,143	1,314	19,756	48,860	129%
オーストラリア	588	318			186	1,092	1517%
その他					10,608	10,608	
計	1,497,408	544,338	223,766	98,411	172,013	2,535,936	103%
対前年度比	91%	91%	276%	115%	310%	103%	

〈品目別の輸出状況〉

- ブリ:アジア向け輸出は増加したが、北米向けの減少により、輸出額は減少。(対前年度比91%)
- カンパチ:アジア向け取引拡大により輸出額が増加。(同115%)
- シマアジ:北米、アジア向け取引拡大により輸出額が増加。(同276%)
- その他:アジア、EU向けに天然魚や芝エビ、海藻類の輸出が増加(同310%)



香港での商談